

目次

1.	アプリケーションについて	1
2.	各機能についての説明	2
2.1.	ヘッダー機能	2
2.2.	メインツール機能	3
2.3.	チェックボックス	4
2.4.	元に戻す、やり直し機能	4
2.5.	詳細設定機能	5
3.	選択機能についての詳しい説明	6
4.	線の詳細編集機能についての詳しい説明	7
5.	触知記号機能についての詳しい説明	8
6.	距離間チェック機能	9
7.	線の直線化機能	9
8.	意見などの連絡先	10

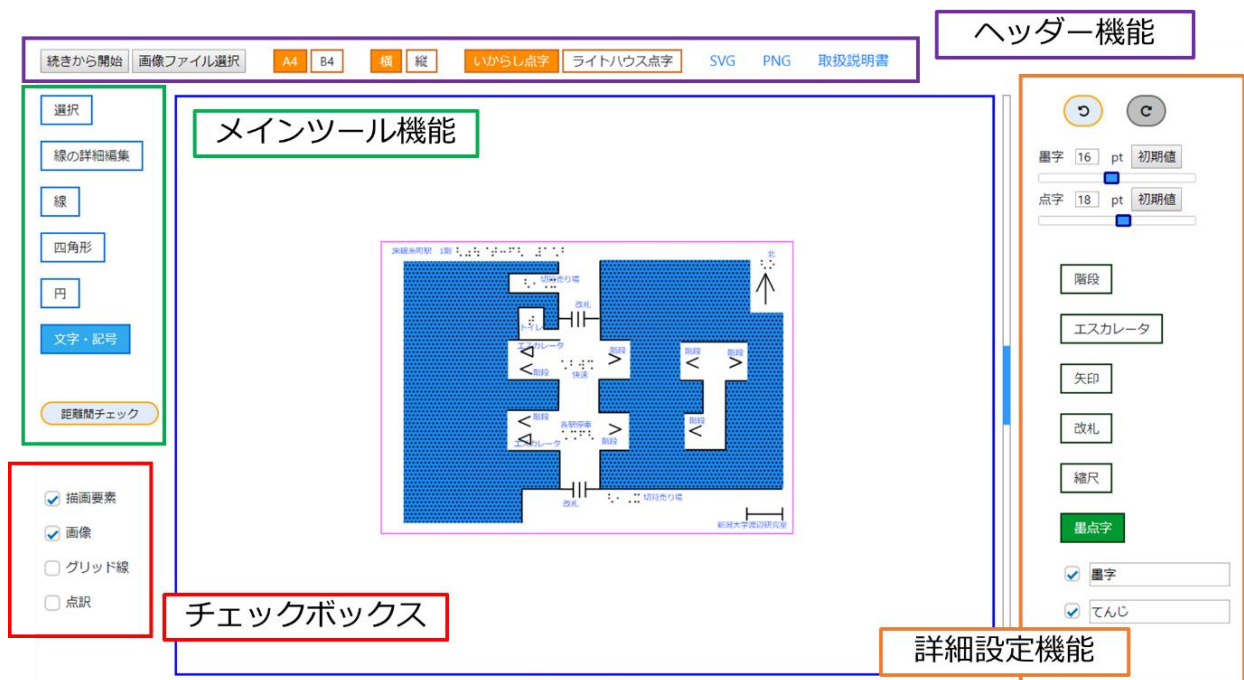
1. アプリケーションについて

このアプリケーションは駅などの施設の構内触地図データを容易に作成することとを目的として開発しました。

必要なもの





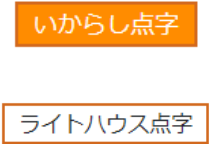


- インターネット環境
- ブラウザ：Google Chrome (2018 / 11 /24 時点での最新版)

現在(2018/11/24 時点)、ブラウザは Google Chrome のみにしか対応しておりません、他のブラウザではアプリケーションの使用はできません。



2. 各機能についての説明





2.1. ヘッダー機能

機能	内容
	このアプリで作成した SVG データを読み込み、 続きから触地図作成を行うことができます。
	画像ファイルを選択し、描画領域上に表示させます。 ※PDF には対応しておりません。
	PNG 形式でダウンロードする場合のサイズを A4 または B4 の いずれかで選択できます。 ※描画領域上の枠が 紫色 (A4)、緑色 (B4) で変化します
	PNG 形式でダウンロードする場合に横向き、または縦向きの いずれかで選択できます
	点字フォントを「いからし点字」(渡辺研究室作成)、 「ライトハウス点字」のいずれかで選択できます。
	SVG、PNG のダウンロード
	取扱説明書の表示


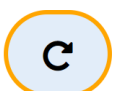
2.2. メインツール機能

機能名	内容
<div>選択</div>	描画領域上の各要素を選択することができます。選択中の要素に対しては様々な操作を行うことができます。 (「3.選択機能についての詳しい説明」を参照)。
<div>線の詳細編集</div>	ペン機能で描画した線を詳細に編集できます。
<div>画像選択</div>	選択機能と同様の操作を画像に対してのみ行います。
<div>線</div>	描画領域上で左クリックすることで線を描画できます。Ctrl キーを押したままにすると一定角度で線を描画できます。 Enter キー、または右クリックメニューから「線の描画終了」で描画を終了します。
<div>四角形</div>	四角形を作成できます。
<div>円</div>	円を作成できます。
<div>文字・記号</div>	JIS で標準化されている触知記号と墨点字を追加します
<div>距離間チェック</div> <div>直線接続変換</div>	「6.距離間チェック機能」と「7.線の直線化機能」でご説明。

2.3. チェックボックス

機能名	内容
 描画要素	画像以外の要素を非表示にします.
 画像	画像を非表示にします.
 グリッド線	グリッド線を表示させます.
 点訳	点字を日本語に変換します.

2.4. 元に戻す、やり直し機能

機能名	内容
	元に戻します. Ctrl キー + Z キーでも同じ操作が行えます.
	やり直します. Ctrl キー + Y キーでも同じ操作が行えます.

2.5. 詳細設定機能

機能	内容
	実線、点線に変更できます。
	線の幅を変更できます。(デフォルトは 1mm)
	墨字の大きさを変更できます。(デフォルトは 16pt)
	点字の大きさを変更できます。(デフォルトは 18pt)
	選択している要素のレイヤー（重ね順）を変更します。
	線、円を描くときに模様で塗りつぶします。
	選択している線、円を模様で塗りつぶします。
	選択機能で選択中のボックスの横幅、縦幅の大きさです。値を変更することで拡大縮小も行えます。(縦横比は維持されます)

3. 選択機能についての詳しい説明

選択機能は要素を選択状態にして様々な操作を行えます。

機能	操作方法
移動	選択ボックスをドラッグします。 またはカーソルキーで細かく移動します。
拡大縮小	●をドラッグ。選択ボックスのカドにある●は縦横比を維持します。
回転	○をドラッグ。ctrl キーを押したままだと一定角度で回転します。
コピー	右クリックメニューから「コピー」を選択します。 または Ctrl キー + C キーを押します。
貼り付け	右クリックメニューから「貼り付け」を選択します。 または Ctrl キー + V キーを押します。
削除	右クリックメニューから「削除」を選択します。 または Delete キーを押します。

4. 線の詳細編集機能についての詳しい説明

線の詳細編集機能は描画した線を詳細編集できます。編集したい線を選択すると線色が赤に変化し、緑色の四角（ノード）が表示されます。線とノードをクリック（青色に変化）し、ドラッグすることで、線の編集が行えます。

機能	操作方法
カーソルキー	選択した状態（青色）の線、ノードを細かく移動
複数選択	Shift キーを押しながら線またはノードを選択。
線の垂直・水平化	線を選択した状態（青色）で右クリックメニューから「線の垂直・水平化」を選択。
ノードを追加	線の上でダブルクリック。
ノードを結合	結合したい2つのノードを選択した状態（青色）で右クリックメニューから「端点ノードを結合」を選択。
ノードを削除	対象ノードをダブルクリック、または delete キー、または右クリックメニューから「削除」
線を削除	delete キー、右クリックメニューから「削除」

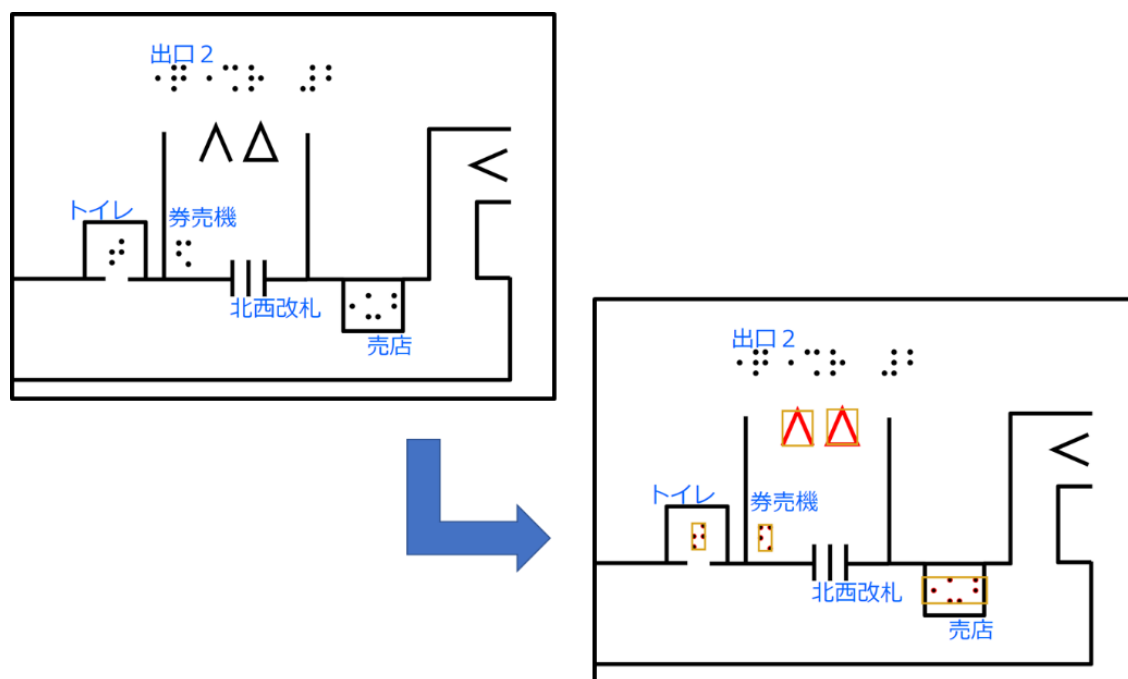
5. 触知記号機能についての詳しい説明

用意している触知記号は JIS で標準化されたものです。

記号	名称
>	階段（とがったほうが上階）
▷	エスカレータ（とがったほうが上階）
➡	進行方向、方位など
ト	改札
┌┐	縮尺
<input checked="" type="checkbox"/> 墨字	点字などを日本語で説明する墨字です。
<input checked="" type="checkbox"/> てんじ	点字は「ひらがな」のみ追加を受け付けます。 また、濁音、拗音、数府などは自動的に 点字での表現に変換されます。

6. 距離間チェック機能

距離間チェック機能は触察しやすいことを目的として触知記号、円記号、点字同士
の距離が近すぎる場合に警告表示を行う機能です。 **距離間チェック** のボタ
ンをクリックすることによって警告が行われます。



7. 線の直線化機能

0度、または90度に近い線を自動的に0度または90度に補正します。この機能
によって簡単にきれいな触地図が作成できます。また変換時には近い線同士を自
動的に接続します。実行には **直線接続変換** を押します。

8. 意見などの連絡先

ご意見、ご不明な点がございましたら以下のメールアドレスに

お気軽にご連絡ください.

メール : f18c119a@mail.cc.niigata-u.ac.jp